

臨床セミナー申込について

- 定員数：80名(先着順)
- 対象者：臨床心理士・公認心理師・医師などの専門家、大学院生、研修生
事例に関する情報の守秘を原種できる方
- 受講料：5万円(大学院生、研修生は4万円)

■ 申込み方法

振込用紙に下記の必要事項を明記し、受講料をお振込みください。

- ①氏名(ふりがな) ②住所・電話・FAX・e-mailアドレス(※e-mailアドレスは必ずはっきりとご記入ください。)
- ③ご所属 ④職種(臨床心理士・医師・大学院生・研修生・その他)(※臨床心理士の資格をお持ちの方は、登録番号を記載してください。)
- ⑤事例発表の希望(有・なし・考慮中) ⑥研修証明書(要・不要) ⑦基礎の基礎セミナー受講(希望の有無)

※お振込み確認後、事務局より「受講申込受付完了」のメールを送信いたします。kodomoshinri@yahoo.co.jp、info@sacp.jpからのメールを受信できるようにしておいてください。※2週間経っても申込完了のメールが届かない場合は、上記e-mailアドレスにお問い合わせください。

■ 振込先

- 口座番号：郵便振替00980-8-150282
- 加入者名：NPO法人子どもの心理療法支援会 京都精神分析・臨床セミナー

■ 第5回オープンセミナーのみ申し込み

件名を「第5回オープンセミナー申込」として、以下の項目をご記入の上、info@sacp.jpまでご連絡ください。

- ①氏名(ふりがな) ②サポチル正会員/非会員 ③ご所属と職種 ④お電話番号 ⑤(非会員の方のみ)郵便番号と住所

【参加費】サポチル専門会員:9500円 / 非会員:10000円 / ボランティア会員:8000円 / 院生・学生:8500円
参加申込後、2週間以内に申込受付メールをお送りいたします。参加費はセミナー当日現金でお支払いください。

■ 基礎の基礎セミナー申し込み

振込用紙に必ず「基礎の基礎セミナー受講希望」と書いてください。
後日、受講の可否についてご連絡いたします。参加費は第1回時にご持参いただきます。

※参加費を、臨床セミナー費と同時に振り込まないでください。

申込締切：2019年10月20日(日) ※先着順なのでお早めにお申込みください

サポチル会員 募集中!

現在(2019年6月末)、**ボランティア会員**41名、**専門会員**152名が、本NPOの研修プログラムへの参加をはじめ、研修会の企画運営、広報事業などに携わっています。本NPOの活動への積極的なご参加をお待ちしています。申込方法は、Webサイト[<http://sacp.jp>]をご覧ください。

また寄付により、子どもの心理療法の料金を支援していただく**賛助会員**を募集中です。2019年6月末の時点で239名の方に
ご支援をいただいています。寄付はWebサイトからのクレジットカード決済、もしくは郵便振替(一口5千円より)によって可能です。

- Webサイト[<http://sacp.jp>][サポートのお願い]のページをご覧ください。
- 郵便振替【口座番号:00990-0-192194 NPO法人子どもの心理療法支援会寄付金】

多くの方のご寄付により、経済的理由で心理療法を受けられないお子さんに心理療法を提供することが可能となっております。
ご支援、ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。



認定NPO法人 子どもの心理療法支援会 事務局
e-mail:info@sacp.jp URL:<http://sacp.jp>
〒604-8187 京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町444初音館302
FAX: 075-600-3238

2019-2020年 京都精神分析・臨床セミナー 運営スタッフ

臨床セミナー 運営スタッフ	林 秀樹(基礎の基礎セミナー)	理事	吉岡 彩子(臨床セミナー担当)	理事長	平井 正三	
	井上 祐 竹田 駿介		武田 和士 竹林 奈奈		副理事長	津田 真知子
	辻内 咲子 西野 将史		久永 航平 松本 拓真		顧問	鶴飼 奈津子 飛谷 渉
	堀内 瞳 村田 リカ		淀 直子 脇谷 順子		監事	鈴木 誠



サポチル 認定NPO法人 子どもの心理療法支援会 主催

2019-20年

京都精神分析・臨床セミナー

ごあいさつ

当会は、子どもの精神分析的な心理療法実践の普及を目指す非営利団体です。虐待を受けた子どもや発達障害を持つ子どもへの心理療法や親へのコンサルテーションなどの実践を支援するとともに、心の専門家に対して精神分析の知識と技量の研修活動を行ってきています。京都精神分析・臨床セミナーはこうした研修活動の柱として実施してきました。今年度は、現在、心理臨床・精神科臨床・教育臨床など多くの臨床領域で関心が非常に高い発達障害に関する精神分析の考えを学んでいくことになりました。精神分析に加えて、精神病理学や発達心理学などの最新の知見から発達障害の臨床に大いに役立つ学びの場となることを期待して企画いたしました。皆様の振るってのご参加をお待ちしています。

認定NPO法人子どもの心理療法支援会 理事長 平井正三

今年度のテーマは、「**発達障害を考える—精神分析、そして発達研究と精神病理学から**」

第1回	2019年11月3日(日)	平井 正三 先生	「発達障害を考える— 精神分析、そして発達研究と精神病理学から」概説
第2回	2020年2月2日(日)	脇谷 順子 先生	「児童期の発達障害—精神分析的な心理療法からの問い—」
第3回	2020年3月15日(日)	飛谷 渉 先生	「現代の思春期プロセスと発達障害— ASとADHDの精神分析的な心理療法の実践とその可能性」
第4回	2020年4月26日(日)	平井 正三 先生 サポチル専門会員	「発達障害をもつ子どもと家族の アセスメントと親との取り組み」
第5回	2020年6月14日(日) この回のみ13時~18時	内海 健 先生 赤木 和重 先生	「自閉症の精神病理—理解のための補助線」 「ヴィゴツキーが、この現代に、自閉症を語ったら?」
第6回	2020年7月26日(日)	福本 修 先生	「精神分析的アプローチと 成人の自閉スペクトラムの問題」

※オープンセミナーとして第5回のみ受講も可能です。

臨床セミナー開催日の午前中(10:30~12:00)に「基礎の基礎セミナー」を開講します

第1回	平井 正三 先生 「導入：精神分析とは何か?」	第4回	鶴飼 奈津子 先生 「子どもの精神分析臨床：基礎の基礎」
第2回	竹山 陽子 先生 「タビストック方式乳児観察：ビデオと解説」	第5回	津田 真知子 先生 「心理療法を精神分析的に行うことの諸問題」
第3回	飛谷 渉 先生 「青年・成人の精神分析臨床：基礎の基礎」	第6回	平井 正三 先生 「終結：振り返りと研修プログラムの説明など」

参加費

臨床セミナー(全6回受講) …5万円(※振り込み)

なお、大学院生、研修生の方は4万円で受講いただけます。
第5回のみオープンセミナーとして単回受講可(先着順)
参加費8千円~1万円(※直接手渡し)

基礎の基礎セミナー(全6回受講) …1万円(※直接手渡し)

※詳しい申込み方法は最後のページをご覧ください。

時間

各回 13:00-17:30

●前半2時間【講義】 ●後半2時間半【事例検討】
第5回はオープンセミナー。この回のみ13時~18時です。

会場

第1回・第4回・第6回…ハートピア京都(京都府立総合社会福祉会館)
第2回・第3回・第5回…ハートンホテル京都

ハートピア京都



地下鉄丸太町駅直結

ハートンホテル京都



地下鉄烏丸御池駅すぐ

2019－20年 京都精神分析・臨床セミナー スケジュール

★講師が挙げている参考文献は講義内容を補うものです。

第1回 2019年11月3日(日)	発達障害を考える ―精神分析、そして発達研究と精神病理学から	平井 正三 先生
<p>本セミナーでは、発達障害の中でも自閉スペクトラム症(ASD)を中心にして、精神分析によるアプローチを概説していきます。ASDについては行動療法や療育などのアプローチが主流になっています。しかし、ASDを持つ子どもや成人は一人一人が異なっている上に、環境からの影響を受けやすいことも指摘されています。ASDが基盤になっているものの、家族環境のむずかしさが併存し、両者が複雑に相互作用しているように見えるケースにもしばしば遭遇します。精神分析的アプローチは、一人一人の子どもや家族を深く理解し、彼らが直面している困難と一緒に考えて取り組んでいきます。本セミナーでは、こうした精神分析のアプローチを、クライン派を中心に概説していきます。これらの仕事が、自閉スペクトラムの臨床の理解や実践に示唆するものは何なのか、本セミナーで考えていきたいと思います。</p>		
参考文献	アルヴァレズ『こころの再生を求めて』『子どものこころの生きた理解に向けて』　タスティン『自閉症と小児精神病』バロウズ『自閉症スペクトラムの臨床』、平井正三『精神分析的心理療法と象徴化』	
ご所属	認定NPO法人子ども心理療法支援会理事長 御池心理療法センター代表 大阪経済大学客員教授 精神分析的サイコセラピー・インスティテュート大阪(IPPO)理事	

第2回 2020年2月2日(日)	児童期の発達障害 ―精神分析的心理療法からの問い―	脇谷 順子 先生
<p>児童期の発達障害はどのような特徴をもつのだろうか。精神分析的心理療法を通して見えてくる発達障害をもつ子どもたちの心の世界とは、どのようなものなのだろうか。子どもたちにとって助けとなる心理療法とはどのようなものなのだろうか。私たち臨床家ができることはどのようなことなのだろうか。彼らとの心理療法の進展の乏しさや行き詰まり感を私たちはどのように理解することができるのだろうか。それらは変化し得るものなのだろうか。発達障害をもつ児童期の子どもとの心理療法を通して私の中に生じるさまざまな問いについて、受講者と一緒に考えてみたい。</p>		
参考文献	特に定めない。	
ご所属	杏林大学保健学部/認定NPO法人子どもの心理療法支援会	

第3回 2020年3月15日(日)	現代の思春期プロセスと発達障害 ―ASとADHDの精神分析的心理療法の実際とその可能性	飛谷 渉 先生
<p>本講では、タスティン、ピック、メルツァー、ピオンなどによるクライン派精神分析概念をもとに、思春期プロセスを、集団参加による社会化過程と、心的皮膚の脱皮による人格インフラの再構築過程として多面的に捉え直し概念化する。さらに、思春期において様々な形で顕在化する自閉性病理について、特にASとADHDのサイコセラピーの実際とその意義について考える機会としたい。また、これらの諸概念を踏まえ、近年蔓延してきている自閉心性の本質について、破局不安のカプセル化とエディプス・コンプレックスの虚像化という観点から考えてみたい。</p>		
参考文献	Tastin, F. : ‘Autistic States in Children.’Routledge,　‘Autistic Barriers in Neurotic Patients.’Karnac Bick E. : ‘The experience of the skin in early object relations.’ International Journal of Psychoanalysis,Vol.49,p.484-486. Meltzer,D.: ‘Adolescence.’ Karnac　Bion,W.R.: ‘Learning from experience.’Karnac	
ご所属	大阪教育大学保健センター	

第4回 2020年4月26日(日)	発達障害をもつ子どもと家族のアセスメントと親との取り組み	平井 正三 先生 サポチル専門会員
<p>発達障害を持つ子どもを援助するためには、その家族と一緒に取り組む必要があります。精神分析的なアプローチがとりわけ役に立つのは、家族や親が援助を必要としている複雑な問題がある場合であり、子どもの発達や適応上の困難にそうした要因が大きな役割を果たしている場合です。本セミナーでは、発達障害を持つ子どもと家族へのアセスメントとして、サポチルが支援している「発達相談サービス」の概要とその臨床例をご紹介します。また、発達障害を持つ子どもの親との取り組みについても臨床例をご紹介します、受講生の皆さんと一緒に考えていく機会を設けたいと思います。</p>		
参考文献	アルヴァレズ&リード『自閉症とパーソナリティ』 鶴飼奈津子『子どもの精神分析的心理療法の基本』	
ご所属	認定NPO法人子ども心理療法支援会理事長 御池心理療法センター代表 大阪経済大学客員教授 精神分析的サイコセラピー・インスティテュート大阪(IPPO)理事	

第5回 2020年6月14日(日)	オープンセミナー 講義と事例検討 ※この回のみ13時～18時です	
自閉症の精神病理―理解のための補助線		内海 健 先生
<p>自閉症は1943年にレオ・カナーが発見して以来、その孤立したあり方の向こう側にある彼らの心性は、長きにわたって臨床家のアプローチを撥ねつけてきた。ようやく1980年代になって、ローナ・ウィングが「アスペルガー症候群」を提唱し、①対人的相互性の障害、②コミュニケーションの障害、③想像力の障害の3つの精神病理が抽出された。またわが国では1990年代から成人の発達障害が精神科一般臨床の場で注目されるようになり、ともすれば言語活動の乏しい小児例からは得られぬ所見を補填することになった。本講義では、こうした背景に基づき、自閉症の精神病理を、①他者からの志向性をキャッチできないこと、②言語の独特の用法、③興味関心の狭さとは異なった意味での想像力の障害、という3つの観点から再編し、事例の理解と支援の一助となることを目指す。</p>		
参考文献	Kanner, L. (1943). Autistic Disturbances of Affective Contact. Nervous Child, 2, pp.217-250. (十亀 史郎・斉藤 聡明・岩本 憲(訳)(2001). 情緒的交流の自閉的障害 精神医学選書 <第2巻> 幼児自閉症の研究 黎明書房, pp.10-55.) Asperger, H. (1944), Die 'Autistischen Psychopathen' im Kindesalter, Archiv für Psychiatrie und Nervenkrankheiten, 117, pp.76-136. (詫摩 武元・高木 隆郎(訳)(2000).,小児期の自閉的精神病. 質高木 隆郎・ラター, M.・ショプラー, E.(編) 自閉症と発達障害研究の進歩 2 Vol. 4 星和書店, pp.30-68) Frith, U.(2003) , Autism Explaining the Enigma. 2nd edition, Blackwell (富田真紀、清水康夫、鈴木玲子訳(2009)『自閉症の謎を解き明かす』東京書籍) 内海健(2015), 自閉症スペクトラムの精神病理―星をつぐ人たちのために, 医学書院	
ご所属	東京藝術大学保健管理センター(センター長、教授)	

ヴィゴツキーが、この現代に、自閉症を語ったら？	赤木 和重 先生
<p>ヴィゴツキーは、障害についてたびたび言及しています。言及した障害種も重度の知的障害や、聴覚障害、肢体不自由など様々です。しかし、時代的制約のため、自閉症については言及しません。しかし、常に論争的に障害理解や教育に新しい視点を提供してきたヴィゴツキーのことです。今の自閉症をめぐる理解や教育について、きっと、何か一言二言いいたかったことでしょう。そこで、今回の講義では、ヴィゴツキーの思想を借りて、現在の自閉症理解や教育に対して、新たな解釈を挑んでみたいと思います。</p>	
参考文献	ヴィゴツキー『障害児発達・教育論集』(新読書社)　ホルツマン『遊ぶヴィゴツキー』(新曜社) 村上公也・赤木和重『キミヤーズの教材・教具』(クリエイツかもがわ)
ご所属	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 准教授
指定討論	松本拓真先生(岐阜大学)　武藤誠先生(淀川キリスト教病院)
事例提供	松本拓真先生(岐阜大学)

第6回 2020年7月26日(日)	精神分析的アプローチと成人の自閉スペクトラムの問題	福本 修 先生
<p>精神分析的アプローチでは、自由連想法を通じて心の働きや構造を浮き彫りにすることが、方法論上の大きな特徴の一つである。この方法は、象徴機能が或る程度備わっていることを前提にしている。幼少期からあるいは受診時に既に自閉スペクトラム症(ASD)診断が付けられている場合、この方法で同じ成果を期待されないので、或る意味問題は少ないが、その傾向が薄い場合、初めはそうと気づかれずに定期面接が続けられ、後に問題が顕在化することがある。それは、別の精神疾患の方が顕著で見逃されてきた(「重ね着症候群」)こともあれば、診断基準を満たさなくても自閉スペクトラム(AS)傾向が認められることも、近接で関わることによって気づかれる自閉スペクトラム心性が存在することもある。その中には、医療的・福祉的配慮を要するものも、少なくない。自閉スペクトラムの問題の多様性と広がりについて考えてみたい。</p>		
参考文献	福本修・平井正三編:『精神分析から見た精神の自閉スペクトラム』、誠信書房。 福本修:「猫を抱いて象と泳げ」(『発達障害の精神病理I』第8章、星和書店)	
ご所属	代官山心理・分析オフィス	

■研修ポイントについて

本セミナーは、日本臨床心理士資格認定協会の「定例型研修会(4ポイント)」として承認されています。5回以上出席の方に「研修証明書」をお渡しいたします。ご希望の方は、振込用紙の通信欄に「研修証明書:要」とお書きください。